

豊かなコミュニケーションのために ～ シンボルで コミュニケーション ～

1 「シンボルは特別な支援」ではありません

どの人も多くのシンボル・視覚的手がかりを活用して生活しています。例えば、以下などがあります。





これらを支援の必要な幼児・児童・生徒に使うとは、どういうことでしょうか。

👉 表出を助ける





意味	使い方の例
① 要求	<p>「おちゃ ください」 ※ 指さして選択するなど。</p>
② 注意喚起	<p>「せんせい (見て)」 や 「せんせい (できました)」 ※ ビッグマック(コミュニケーション機器)にシンボルを載せて使用します。「せんせい」と音声が出るので離れている大人を呼ぶこともできます。</p>
② 拒否	<p>「おしまい」 や 「やめて」 ※ 行動以外にも伝えられる手段になります。</p>
③ 報告	<p>「豆まき したよ。」 「おとうさんと 海いったよ。」 「アイス、好き。」</p>

これらのメッセージがスムーズに伝えられないため、様々な行動があらわれたり、情緒の不安定さにつながったりすることが多いのです。だからこそ、まずは表出を大切にしていきたいですね。

👉 理解を助ける

	大人	子ども
<p><視覚的手がかりなしの場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚だけが頼り ・注意を向けて、聞き取って、解って、記憶する… 	 <p>「今日はスーパーに行ってから、家に帰るわよ」のことばがけのみ</p>	<p>うん おうちにかえる。 あれ？おうちはこっちの道なのに……。 いつもと違うの??</p> 















<p><シンボルを使うと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚+視覚 ・何度も確認できる 	 <p>+</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スーパー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>いえ</p> </div> </div>	<p>そうか！ スーパー行くんだ！！</p> 
---	--	--

2 シンボル活用のポイント

①	子どもにとって分かりやすい・使いやすいものを組み合わせます(ミニチュア、写真、お店のマーク、文字、パッケージの切り抜きなど)	   <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ポテト</div>
②	好きなもの、好きなことから始めることが大切です。シンボルは「楽しい」「嬉しい」ことにつなげましょう。	 <p>ダンス</p>  <p>トランポリン</p>  <p>パズル</p>
③	子どもの様子や成長に合わせて、シンボルの内容や場面、形態を変えていきます。	<p>ビッグマック カード ブック タブレット スマホ</p>     

★場面を限定せず、学校、家庭、児童館、生活する地域など様々な場面で活用する機会をもちましょう。

【色々なシンボル】

	PIC	PCS	ピクトグラム	bo-symbol	DROPS	マカトンシンボル
ごはん						
さようなら						

3 よくある質問

Q	A
シンボルを使うことで、ことばをしゃべらなくなるのではと心配です。	シンボルは ことばの発達を促し、妨げになることはありません 。ことばの発達の為には、シンボルのみでなく、同時にことばや身振りサインを示すことが大切です。 まずは、どんな手段でも良いので、伝えることが大事です。
しゃべっている子どもにもシンボルは必要ですか？	いつでも、どの場面でも、誰とでもスムーズにことばで意志を伝えられていますか？もしうまく伝えられない場面があれば、 ことばのあるお子さんにも有効 です。 シンボルを用いることで、表出を2～3語文へと促すこともできます。
いつまでシンボルを使うのですか？	子どもにとっては、 シンボルはことば です。 「いつまでか」を選ぶのは 子ども自身 です。 ことばのある子どもでも、シンボルがあるだけで安心して話せる人もいます。
社会に出た時にシンボルは使えないのでは？ 学校内だけしか使えないのでは？	社会には すでに多様なシンボルがあり、多くの人 が活用しています。文字と一緒に表記できるので、多くの人と共有でき、コミュニケーションの助けになります。
どの様なシンボルが使いやすいですか？	色つきシンボルと、白黒シンボルがあります。 導入時は、子どもの認知に合わせて選びましょう 。写真の方が具体的やりとりのルールが定着しやすい場合があります。写真とシンボルを一緒に用いることもあります。また、学校でシンボルを使用する場合は、クラスや学部全体で使用するシンボルを統一し、お子さんが 一度覚えたシンボルを継続して使える環境を整える ことが大切です。
シンボルを用意したのに、子どもが使ってくれません。	シンボルの内容は楽しいものになっていますか？ 大人がわかって欲しい内容になっていませんか？ まずは、「 楽しかった! 」と思える場面から導入してみましょう。 すぐに使えなくても 場面や内容を検討しながら根気強く取り組んで みてください。
騒いでいる子に『しずかに』のシンボルを見せたのですが、かえって怒ってしまいました。	興奮している時ではなく 落ち着いている時にシンボルカードを見せ、内容を確認し、守れていることを褒めてあげ ましょう。 注意する為に、シンボルを見せ続けると、 シンボル自体を拒否するようになる ので気を付けましょう。

シンボルを活用する皆様へ・・・

最初から完璧な多くのカードやボードを作ろうとすると、時間がかかります。

その分、使ってもらえないと大人の落胆が大きく、あきらめたくなるかもしれません。

たとえシンプルなカードでも、**好きな物事から始めると**、子どもは興味や関心を示し、学んでいく力があります。

様々な手段で表現し、伝わった経験が積み重なると、伝わる実感から**やりとりが楽しくなり、意欲が育ちます**。

「コミュニケーションをとりながら学んでいく」ことを**子どもとともに体験**し、積み重ねていきましょう。

4 活用事例 → 詳しくは「活用事例集」をご覧ください

5歳児・自閉症スペクトラムの例

給食時におかわりが伝えられず、離席を繰り返し、他のお子さんの食事を取ろうとする様子が見られたため、このお子さんの大好きな白米の写真カードを用意し、担任に伝える練習を行った。その結果、自分から写真カードを担任に渡し、おかわりを要求できるようになり、他児の食事を取ろうとする行動がなくなった。また、着席時間も長くなった。



5 参考までに

- ①魔法のプロジェクト <https://maho-prj.org>
- ②マジカルトイボックス <https://magicaltoybox.org/mtb/>
- ③ドロップレットプロジェクト <http://droptalk.net>
- ④atacLab(エイタックラボ) <https://atac-lab.com>
- ⑤ぽっしゅん bo-ya のページ possyun.la.cocacn.jp/index.html
- ⑥kinta のブログ ANNEX <https://www.assistivetechology.cfbx.jp/kinta/>

<コミュニケーションシンボル連携会議について>

以下は世界各地に表示されているオリジナルの『トイレ』のシンボルです。色も形も多様ですが、日本では、経済産業省が駅やその他の公共機関でのマークをJIS規格で統一しました。



私たちは、シンボルの活用を目的に研修を重ねています。

(JIS規格)

生活の中の基本的な語彙に対して、そのお子さんにわかりやすいシンボル等の環境を用意し、子どもたちがスムーズに人とコミュニケーションを行えることを目標に、近隣地域の就学前機関とも連携しながら、情報発信や勉強会などを行っています。

●コミュニケーションシンボル連携会議参加団体(50音順)

足立区障がい福祉センターあしすと 幼児療育係	都立足立特別支援学校	都立北特別支援学校
児童発達支援センター うめだ・あけぼの学園	都立王子特別支援学校	都立墨田特別支援学校
児童発達支援センター のぞみ学園かめあり	都立葛飾特別支援学校	都立花畑学園
都立北療育医療センター 城北分園	都立葛飾盲学校	都立水元小合学園
	都立葛飾ろう学校	都立水元特別支援学校

*参加団体(特別支援学校)は東部地区コーディネーター連絡会(パワフルネットワーク)内(足立区に学区をもつ特別支援学校)に位置づいています。

2023年3月改訂

コミュニケーションシンボル連携会議事務局 東京都立花畑学園
担当 特別支援教育コーディネーター